聞社主催の美術公募展 もと『描く力』2025」で、

「くま

した作品『秋』は、

鵜ノ瀬堰

している福島さん。今回入選 普段は卓上静物画を得意と

から望む甲佐岳をモチーフに

ふるさと部門の最高賞「ふる

した風景画。

山や木々が大胆

描く風景に近づいていきまし

る福島露子さん(浅井区)

『秋』が、㈱熊本日日新

50年間油絵を描き続けてい

さと賞」に選ばれた。

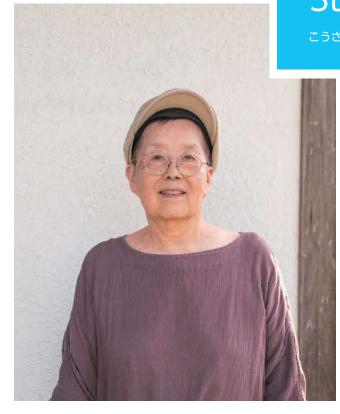
今を描き人生も絵も私色

好き」を重ねて後悔

な

な線で描かれ、

甲佐町



絵を描く合間にも刺子や縫い物 以前から続けている俳句も楽し みたいとアクティブな福島さん。 福島さんの受賞作品『秋』は、 11月26日(水)〜30日(日) に県立美術館分館にて展示予定

露子さん 福島 Tsuyuko Fukushima

[浅井区]

ませんね」と振り返る。

福島さんが絵に魅せられた

るので、好きなことを楽しみ はいろいろやりたいこともあ きは毎日でも描きますが、

ません」と穏やかに笑う。 るのが長続きのコツかもしれ ながら、自分のペースで続け

る。福島さんは、「数年かけ を感じる色が重ねられてい われず、自分の好きな色で塗 かったんです。でも形にとら ときは、どこかしっくりこな ころばせる。「最初に描いた 成させた力作です」と顔をほ て少しずつ手を加えながら完 _直すうちに、だんだん思い 秋のぬくもり ましたが、続けてきたことで 家事の合間に少しずつ描いて 的に油絵を学び始めたとい る絵画クラブに参加し、本格 後三十代で本田先生が主宰す 先生に習い、絵の世界にのめ ときに美術教師・本田建二郎 のは、子どもの頃。中学生の た気がします」と福島さん。 少しずつ自分の絵が見えてき いました。忙しい時期もあり り込んだのがきっかけ。その 「描きたいときに2時間ほど 「仕事や子育てをしながら

と語る。 ればいいなと思っています がほっとできるような絵であ のではありませんが、見た人 う福島さんは、「私の絵は社 れる「空気」を描いていると 何よりの楽しみです」と笑み ス。無心になれるこの時間が 集中して描くのが私のペー をこぼす。風景をそのまま写 会的なメッセージを込めたも し取るのではなく、そこに流

せたのが良かったのかもしれ た。無垢な気持ちで筆を動か を尋ねると、「それは絵が好 長く筆を取り続けられる理由 きだからですね。描きたいと

広がっている。 らの人生を彩る新しい風景が るその姿勢の先には、これか ながら、「好き」を追い続け っていたことにも果敢に挑み なっているようで、「今後は 中で感じるインスピレーショ の匂いに包まれるのが大好 き」と話す福島さん。自然の と話す福島さん。苦手だと思 人物画にも挑戦してみたい. ノが、作品づくりの原動力に 登山も趣味のひとつで、「山



ご自宅に保管されていた青い瓶をモ フにした作品。丸みをおびた瓶と 対照的な三角の直線。じっと眺めてい ると色の動きもあっておもしろい。

FAX 096-234-3964 096-234-1111 (代表)

URL

https://www.town.kosa.lg.jp/

